

Weekly Report  
No.2322



イマジンロータリー  
2022-23 年度  
国際ロータリーテーマ

# Hashima Rotary

2022-23 年度 会長方針

## 「ロータリーの回帰・研修・改革」

会長 岩田 勝美 幹事 林 秀樹 会報委員長 平松 暁仁



事務所：〒501-6255 羽島市福寿町浅平 3-106 TEL (058) 392-2888 FAX (058) 391-2260  
例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：西松亭 E-mail: hashima@ccn.aitai.ne.jp

### 本日のプログラム

第 2598 回 2022 年 10 月 18 日 (火)  
『クラブフォーラム』R財団  
卓話「ロータリー米山記念奨学事業とは」  
地区米山学友会小委員会 委員長 長谷川 隆志 様  
(岐阜東RC)

### 次回例会のご案内

第 2599 回 2022 年 10 月 22 日 (土)・23 日 (日)  
『2022-23 年度 地区大会』 長良川国際会議場  
22 日 (土) 点鐘 13:20  
23 日 (日) 点鐘 9:05

《Zoom 例会中継のご案内》 ID : 556-098-4805 / パスワード : 4361 例会欠席の際はぜひご視聴ください

### 前回例会の記録

第 2597 回 2022 年 10 月 8 日 (土)  
『地区補助金事業』  
私たちの未来予想図 ~SDGs を学ぶ~  
竹田 恒泰 講演会 不二羽島文化センター  
例会点鐘 11:00 開場 13:00 開演 14:00

例会・会場準備 11:00~12:00

岩田会長・川崎実行委員長 ご挨拶  
食事(西松亭お弁当)後、役割担当配置



岩田会長 ご挨拶



川崎実行委員長ご挨拶



司会者  
篠田 陽子さん



## 地区補助金事業 講演会

### 主催者の挨拶



会長 岩田 勝美

3連休初日の忙しい時間に大勢の市民の皆様に参加して頂きありがとうございます。コロナ禍の中、本来の入場者を約1/3の300名に絞っての開催となりました。

ロータリークラブは1905年2月23日極寒のアメリカ・シカゴで、青年弁護士ポールハリスによって産声を上げました。その15年後の1920年(大正9)、後に三井銀行頭取になる米山梅吉氏がポールハリスと知り合い、世界で855番目になる東京ロータリークラブが出来ました。現在200以上の国と地域に36,913のクラブ、約118万人の会員を擁しています。日本には2,214クラブ、約82,330人の会員がいます。

我が羽島ロータリークラブは1968年(昭和43)日本で869番目のクラブとして26名の会員で誕生し、今年度、創立55周年を迎え39名の会員で頑張っています。

世界中に数多く有る奉仕団体の殆どが社会奉仕の団体ですが、ロータリークラブは世界で唯一、職業の倫理性を常に考え、自らの職業で世の中を良くしていこうという考え方「職業奉仕」を提唱しています。一言でいえば、「正しい経営」を学ぶ団体です。

私は正木町でスマートフォンの製造装置や航空宇宙に関わる精密部品を製造する(株)岩田鉄工所で日々「どうしたら皆が幸せになれるか」を考えながら仕事をしています。

皆様のお席に置いてあるチラシはロータリークラブが35年前から始めて、発展途上国の通算約30億人の子供たちに接種を続けている「ポリオプラス」のパンフレットです。現在では99.9%が無くなり、アフガニスタンとパキスタンに若干残っていますが、完全に無くすことを目標にこれからも活動を続けて行きます。皆様の中でロータリークラブに興味のある方の入会をお待ちしています。

本日の講師、竹田恒泰先生による「日本を正しく学ぼう」私たちの未来予想図 ～SDGsを学ぶ～ ですが、本当の日本の素晴らしさ、本来のSDGsの意味など、普段聞いた事が無い、とても興味深いお話が聴けると思います。最後までごゆっくりお聴き頂きたいと思ひます。

今回の市民講演会は国際ロータリー、ロータリー財団地区補助金事業としての開催となりました。多くの市民

の皆様「心に残る講演会」になる事を祈念して開会のご挨拶とさせていただきます。

### 講師紹介

竹田先生は、昭和50年(1975年)旧皇族・竹田家のお生まれで、明治天皇の玄孫にあたられます。慶応義塾大学 法学部 法律学科卒業後、作家としてご活躍しておられ、平成18年『語られなかった皇族たちの真実』で第15回山本七平賞を受賞されました。

また、令和3年に第21回正論新風賞を受賞致しました。

『日本はなぜ世界で一番人気があるのか』『現代語古事記』、『中学歴史・不合格教科書』など他多数の著書をだされています。

また、全国17ヶ所で真実の日本を教える「竹田研究会」の講師を務めております。

### 講演会



### お礼の言葉 荒木副会長



## 委員会報告

### 出席委員会

- ・本日の出席率  
出席規定会員数 34名中 30名 85.71%

## ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆岩田 勝美君 林 秀樹君 青木平七郎君  
天野 洋和君 荒木 義男君 安藤 賢治君  
小椋由美子さん 加藤 大輔君 加藤 宗雄君  
兼松 秋生君 川崎 正一君 木寺 祐樹君  
栗山 和洋君 栗山 浩幸君 佐藤 裕昭君  
佐溝 勝樹君 杉山 大地君 辻井 晃君  
西松 永根君 野中 学君 平松 暁仁君  
堀 雅利君 松田 和彦君 丸山 千恵さん  
南谷 茂伸君 虫賀 大輔君 森 輝廣君  
柳原 望成君 山下 正弘君 梁 麗娜さん  
本日は、ご出席の皆様よりご投函いただきました。

## 幹事報告 (第2597回)

- 10月11日(火)は本日へ例会変更。
- 次回例会は10月18日(火)『クラブフォーラム』  
米山委員会担当 卓話 地区米山学友会小委員会  
長谷川 隆志様 (岐阜東RC)
- 岐阜サンリバーRC 創立30周年記念式典のご  
案内を、近日中にメールまたはFAXにてお送り  
します。  
全員登録 登録料10,000円  
(例会費2,500円、7,500円預託金)  
11月29日(火)の例会変更となります。  
日時 11月25日(金)  
式典 16:00~17:00  
祝宴 17:30~20:00  
場所 大垣フォーラムホテル

## 前々回例会の記録

第2596回 2022年10月6日(木)  
『ガバナー公式訪問 会長幹事懇談会  
9RC合同例会・インターシティーミーティング』  
高橋 伸治ガバナーをお迎えして  
大垣フォーラムホテル

### 受付：親睦委員会



## インターシティーミーティング 14:30~16:15

### クラブ発表 「四つのテスト」について思うこと

職業奉仕委員長 松田 和彦



我々羽島ロータリークラブでは毎月第一例会で「四つのテスト」を唱和し、各々の職業の道德意識を高めていく事で社会に奉仕するロータリーの理念を实践する様に努めています。

しかしながら、クラブ内で『四つのテスト』について各会員の皆様がどう考えているか、どう実践しているかについて話し合った事はあまりないように思いますので、私の思いとして意見を述べさせていただきます。

「四つのテスト」は会社経営や社会生活に真摯な姿勢で取り組むための指針だと思います。ただ1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなの為になるかどうか はそれぞれ解釈に多少違いがあるのではないかと思います。

「仕事における競争の中でそんな甘い事言っていられない時もある。」とか「やはり人間だから好き嫌いもある。」  
「みんなの為になるなんてありえない。」等の理由で言行に違いが出てくると思います。それでも毎月例会で唱和し、又その仲間を増やす努力をするという地道な活動がいつか「四つのテスト」を言行の指針にしていれば良かったな、とたくさんの人が思ってくれたとしたら、きっと良い世界が来ると思っています。

先日お亡くなりになられた、京セラの稲森さんは、利他の心の経営で知られています。自分が豊かになりたいなら他人も豊かにしなければならぬ。この域まで来ると悟りの様に感じますが、結局「四つのテスト」もその言行が出来るのは相当、人として成長しないとはいけません。

ロータリーの会員の皆様が真のロータリアンにならないと中々実践できないという事です。その意味で第六章基本理念の中では、「人間関係における道德的水準の向上を図り、それを維持することのみ『四つのテスト』を使用し、決して 規則 として扱われてはならない。」とあります。私もほんの少しでも自然に「四つのテスト」の言行が出来る様になりたいものだと思います、会社の社是を「下げ振りの心」と定め、判断に迷ったとき常に垂直を指す建築道具の下げ振りにたとえ、自身の気持ちの指す方向を無の状態にして考えて進もうと努めておりますが、中々難しい事なのでこれからまだまだ精進しなければなりません。今回このようなテーマを頂戴し、改めて自身の行動指針について考えさせられました。羽島ロータリークラブ内でも IDM などで仲間の皆様と話し合いたいと感じました。

ご清聴ありがとうございました。

## 歓迎の挨拶



不破ロータリークラブ  
会長 福田 一弘 様

みなさんこんにちは、今期9RCのホストを務めさせて頂いております、不破ロータリークラブ会長の福田一弘と申します。宜しくお願ひ致します。

高橋ガバナー、本日は岐阜西濃グループ9RCの合同例会にご出席くださり大変感謝しております。ありがとうございます。また、9RCの皆様も多数のご参加、大変感謝致します。ありがとうございます。このご時世にリアルで合同例会が実施できたことを大変嬉しく思います。

高橋ガバナーが掲げた地区スローガンが

『ロータリーの心と原点』を大切に、描こう明るい未来を』そしてサブテーマに（ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る）とあります。

そして、国際ロータリーは、ポリオ根絶が今後も国際ロータリーの最重要事項である一方、会員増強が最重要事項であると言っています。やはり、職業奉仕の観点からも私たちロータリアンが成長し人道的奉仕の成果をあげていくことが重要で、また共に奉仕活動を行い、四つのテストを共に考え実践していく仲間を増やす事、会員増強は大切な課題だと考えます。そして重要な事がもう一つ、例会への出席です。例会に出席し親睦を深め、学ぶ。例会出席こそが成長への第一歩だと考えます。

本日はこの後高橋ガバナーの卓話がございます。しっかりと学ばせて頂き成長に繋がりたいと思います。

## ガバナー卓話



国際ロータリー第2630地区  
ガバナー 高橋 伸治 様

皆さんこんにちは。今年度ガバナーを務めさせていただきます高橋です。所属クラブは岐阜ロータリークラブです。どうぞよろしくお願い致します。

本日の卓話は、まず初めにRI会長の紹介、とRI会長テーマ、RIの戦略計画、そして現在RIはどのような方向に向かっているのかについて、最後にガバナーの方針であります地区スローガンと地区活動方針についてお話をさせていただきます。ガバナーはRIの役員という立場でありますので、まず公式訪問ではこれらの事を話す役目があります。

少し硬い話になってしまいますが、大切な事ですのでお付き合いの程よろしくお願ひします。それでは時間も限られていますので、さっそく始めさせていただきます。

まず最初に今年度のRI会長を紹介させていただきます。この右上の女性の方です。

名前は、ジュニア・ジョーンズ 所属クラブ カナダ ウインザー・ローズランドRC

職業はラジオやテレビ番組の制作、企業の動画の制作などを専門にするMedia Street Production Inc.の創業者で現在社長・ウインザー大学の理事長・ウインザー・エセックス地域商工会議所会頭を歴任。ロータリー歴1997年 入会。

ご覧頂いたように、RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任。超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞アーチ・克蘭フ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員

1905年にロータリーが誕生して以来117年目にして初めて女性のRI会長の誕生という事で今年度は、ロータリーの歴史に残る年度となります。

右下の写真がパートナーのご主人です。彼もロータリアンで、職業は内科医 2024-25年のガバナーに決まっています。

それでは、RI会長のスピーチを3分にまとめた動画を作りましたのでご覧ください。（動画視聴）

この様にRI会長は、

「私たちがベストを尽くせる世界」を想像して下さい。やさしさ、愛、希望、平和を想像して下さい。

イマジンとは、未来を描くことです。

その未来の夢を実現するために行動するかどうかを決めるのは私達です。

その実現のためにロータリーのつながりと力を生かしましょう。

と私たちに呼びかけられました。

今、ウクライナで毎日起きている悲惨な状況が続いています。私達ロータリアンは想像力を働かせ、ウクライナ支援の為に何が出来るのかを考え、行動に移す時なのかもしれません。

詳しいスピーチの内容については、7月号の月信をお読みください。

今、ご覧いただいた会長スピーチに出てきましたが、今年度のRI会長テーマは「イマジンロータリー」であります。そして「ロゴ」になります。（ロゴの説明）

色についてですが、パープルはポリオ根絶、グリーンは環境、白は平和をイメージしています。

パープルの輪は人々のつながり、輪の周りの点は、集まっている人々、それと7つの重点分野、輪と点との組み合わせは、私たちの行く先を先導する星をイメージしています。

下のグリーンの線は、ロータリアンが奉仕活動に立ち向かう時に使う道具をイメージしています。

それでは、次にRIの戦略計画について話をさせていただきます。4つの項目があります。

1つ目は、ビジョン声明です。

RIは、2016年、2019年の規定審議会においてクラブ運営・組織運営に大幅な革新性・柔軟性を取り入れ、入会のハードルを下げることによって、会員の減少を食い止めると同時に、増強を図ってきましたが、右の表で見ていただいたように減少が止まりませんでした。そこで、RIは、ロータリーを拡大していくためには共通した方向性とロータリーが目指す姿を、世界中のロータリアンに示す必要があると判断し、2019年にビジョン声明を発表しました。

2つ目は、このビジョン声明を達成するために今後5年間の戦略的優先事項として4つの行動計画が発表されました。

そして、ここで重要なことは

「より大きなインパクトをもたらす」には参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促す必要があります。参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促すためには、地区やクラブも「適応力を高め」、地域社会のニーズに合った適切な運営が必要になってきます。つまりこれらの4つの行動計画は「一つにもの」として考えなければならないという事です。このことは大事なことですのしっかり理解しておいて下さい。

3つ目は、ロータリアンの基本となる行動指針を記した「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」といった中核的価値観です。世界中のロータリアンが共有する最も重要な価値観です。今後、戦略計画の内容が変わったとしても、中核的価値観は不変です。

4つ目は、今年度の重点テーマとなっております2019年に理事会が採択したDEI、つまり「多様性・公平さ・インクルージョン」の推進であります。RIの方針として、ロータリーは、すべての人に、尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳を傾け、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会をもうける事に力を注いでいくという事を表明しています。

ダイバーシティ（多様性）とは：あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティの人を歓迎するという事です。

エキويتي（公平さ）とは：クラブ会員の公平な扱いと、機会の均等を保つように努めるという事です。

インクルージョンとは：簡単に言うと帰属意識の事です。あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるインクルーシブなクラブ環境づくりに力を注いでいくという事です。

ここで、「平等」と「公平」の違いが分かりにくいと言う方が見えると思いますので、この絵を見て説明します。

（絵の内容で説明）

平等（Equality）とは、個人の違いは視野に入れず全員に平等なものが提供される事

公平（Equity）とは、個人の違いを考慮し、それぞれに公平な機会が提供される事

そして、ダイバーシティとインクルージョンとはこの右下の絵のようなことを言っています。つまり、誰もが活躍できる組織ということです。

それでは、なぜRIがDEIの導入が必要であると言っているのかと申しますと、

①戦略的優先事項である「4つの行動計画」を推進するためには「DEI」の導入は必要である

②現在、会員数が伸び悩んでいる中、ロータリーの会員基盤を成長させ、インパクトを高めるためには、我々会員がロータリーをより多様性・公平さ・インクルージョンのある組織にしていく事が必要であると考えからであります。

現実には、毎年約15万人ほどの新入会員が入ってきても、同じくらいの数の会員が裏口から出て行ってしまいます。そして、その退会者の50%が入会3年未満の会員であるというのが現状です。ロータリーの良さを理解しないまま退会してしまう事は、ロータリーにとっては大変大きなマイナスであります。このような状況を改善するためには、すべての会員がロータリーと強いつながりが実感でき、クラブに対して心地よさを感じる事、そして、「会員への配慮」が必要であります。

つまり、クラブの成長には、インクルーシブなクラブ環境が必要であるとRI会長は言っています。クラブ一丸となって、この様な「インクルーシブなクラブ環境づくり」に力を注いでいただき、会員増強・退会防止につなげていっていただきたいと思っております。

ロータリーの最大の財産は、「会員」であります。どうぞよろしくお願ひします。

以上、4項目がRIの戦略計画の内容となっております。

次に、RIの基本方針について報告します。

まず一つ目は

①ロータリーの成長がRIの戦略計画の重要な要素であります。

歴代RI会長のスピーチの中にも「成長」つまり（Grow）という言葉がよく出てきます。

ジュニファー・ジョーンズRI会長は、「いつも笑い、夢を描き、希望を抱き、そして成長しよう」と言っています。

Do More Grow More（シェカルメーター元RI会長）

このように「成長」という言葉がRIのキーワードになっています。

そして

②ロータリーの最優先事項は、ポリオ根絶活動であります。ポリオ根絶運動はロータリーが世界に誇れる人道的支援運動でありであります。今までに2,000万人以上の子供達を小児麻痺から救ったと言われています。現在、ポリオの発症例は、アフガニスタン、パキスタンの2国を残すまでとなり99.9%の達成が報告されあと一歩のところまで来ています。

③最重要事項は、会員増強であります。これは、ロータ

リーの成長を支えるためには会員増強は重要なテーマという事です。

以上が、RIの基本的な方針であります。

しかし、これが、最近のロータリーは「金集め」「人集め」の団体になったと言われる原因にもなっているのも事実でないでしょうか？

それでは、次にガバナー方針であります地区スローガンについて発表させていただきます。

まず、その前に、近年のロータリーの現状を理解してもらうためにRIを含む世界のロータリーの現状と、今、RIが目指そうとしている方向性とはどのようなものなのかについて報告させていただきます。(スライド)

要するに、RIは、ロータリー財団と一体となり、「奉仕の実践」に重点を置き「世界で良いことをしよう」そして、「ロータリアンは世界を変える行動人」を旗印に世界有数のボランティア団体を目指そうとしています。これが今のRIの現状です

今回の「ビジョン声明」・最近のRI会長のスピーチにもこのRIの方向性がよく表れています。

先進国の会員が減少して、発展途上国の会員が増加していく現状を考えると、人道的支援活動を中心としたロータリー活動が、これから益々RIの活動の中心となる傾向にあると思います。

ロータリー運動を最もよく表す「ロータリーのキャッチフレーズ」がご覧の様になりました。

1947～2013年までは

「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」

「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、突如2014年から

この様に「JOIN LEADERS、EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」に変わりました

「リーダーのネットワークを広げ、アイデアを交換し、行動しよう」であります。

つまり、「学ぶことより、まずは行動しよう」がロータリー運動の前面に出てきたという現れです。

この様に、今のロータリー運動は「奉仕の理念を学ぶ」より「奉仕の実践」に力点を置いた内容に変わってきている。という事です。

(スライド11)

この写真は国際協議会の入り口の写真です。この様に看板が変わっています。

つまり、RIを含む世界のロータリーの現状を私流に図で表すとこのような感じになります。

「理念な実戦」の様に見えます。

もちろん人道支援活動はロータリーの重要な奉仕活動でもあり、ロータリー財団が目標とする7つの重点分野でもあります。助けが必要な人がいれば、手を差し伸べることはロータリーにとって当然の事です。

こうした人道支援活動の成果があつてこそロータリーの認知度が上がり、仲間が増え、奉仕の輪が広がっていくという事に間違いはありません。

決議23-34 第4条にも、

「奉仕する者は、行動しなければならない。従ってロータリーとは単なる心構えの事を言うのではなく、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない」と謳っております。

ポールハリスは、ロータリーの奉仕と言え、その根源は人格の向上である事は間違いありません。しかし、その心の改善を実証するためには、すべての点において行動しなければなりません。

「奉仕の心を行動へ、行動するにはまず心である」と言っています。つまり、ロータリーの基本は個人奉仕であるが、時と場合によっては団体奉仕も必要であるという事です。

しかし、最も大切なことは、ロータリーはただの奉仕団体ではないという事です。その根底には、100年以上にわたって先人達が培ってきた、親睦と職業奉仕理念を根幹としたロータリーの基本理念があります。

そして、ロータリーは、これらを土台とした倫理運動体という教育的要素を持った団体でもあるという事です。

ロータリーの本質は、人に寄り添い、人間が本来生まれながらに持っている「人のために役立ちたいと思う・利他の心」を養い、親睦・奉仕の実践を通じて自己を磨き、高い職業倫理基準と道徳心を持った「真のロータリアン」を育てることです。そして、その学びの場所が「例会」であるという事です。

米山梅吉翁は、「例会は人生の道場」と言いました。「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神のもと、「心を育て、人を育てる」のがロータリーであります。

また、ロータリアンにはもう一つの役目があります。それは、日常生活・職場・地域社会においてロータリアン以外の人たちと「奉仕の理念」を分かち合い、職業倫理・道徳・奉仕の理念を広めていかなければならないという事です。つまり、ロータリーの外部での「人づくり」であります。こうした事もロータリアンとしての大事な責務であります。

RI歴代会長は次のように言っています。

・1954-55年度RI会長 Herbert Taylor

Rotary is maker of friendship and builder of men

「ロータリーは友情を育み、人を作る。人格者を育てる

・1974-75年度RI会長 William Robbins

Rotary's first job is to build men

「ロータリーが最初に行うべきことは人づくり」

ロータリーの価値は、クラブの規模や会員数ではなく、クラブが如何なる人を育てたかによって測られる

そこで、私が考える理想的なロータリー活動とは、どういふものかと申しますと、中核的価値観を基盤に、「心を育て、人を育てる」といった「奉仕の理念」と「奉仕活動」といった「奉仕の実践」をうまくバランスを図りながら活動していく事であると思っています。

米山梅吉翁も、

ロータリーは理論と実践の調和の中に宿る理論も大事ではあるが、実践も大事である。しかし、実践を強調するあまり理論を軽視する事はダメとも言っています。

マネジメントの父と呼ばれた、ピーター・ドラッカーも、「実践なき理論は空虚であり、理論なき実践は無謀である」と言っています。

つまり、理想的なロータリーとは、図で表しますとこのようなバランスの取れた感じになります。

ロータリーは、先ほど話をしましたように過去 20 年間様々な戦略計画を立て、会員増強に励んできましたが、会員は、約 120 万人をピークになかなか増えていません。先進国の会員数が減って、その分を発展途上国の会員数の増加で補っているのが現状です。

今こそ、私達は、原点に立ち返り、創立者であるポールハリスが、あるいは、米山梅吉翁がどのような「想い」でロータリークラブを作ったのか、そして、ロータリーの基礎を築いてきた先人たちの足跡を振り返ってみる必要があるのではないかと思います。

現在のように「成長ありき」の戦略計画を立て、ルールを緩和し、人道的支援活動に重点を置いた RI の方針は、益々ロータリーの本来の魅力をなくし、「ロータリアンとしての誇り」が失われていくように感じています。

私たちは、世界のロータリー活動が「学びより実践に重点を置いた」状況の中、より一層「ロータリーの心と原点」を大切に、理念と実践の調和を図りながら、先人達が 100 年の歴史の中で培ってきた日本のロータリー文化を守り続けていかなければならないと思います。

また、国際協議会のスピーチでジェニファー・ジョーンズ RI 会長が、「より良い世界を想像し、その実現のためにロータリーの力とつながりを活かし、行動に移しましょう。ロータリーの様な団体が、ポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を描くなら、それを実現させる責任は、自分たちにあります。イマジンは、やさしさ・愛・希望・平和を想像し、明るい未来を描くことです。」と私たちに呼びかけられました。

RI 会長のテーマ「イマジン ロータリー」に込められた「明るい未来への熱い想い」をしっかりと受け止め地区スローガンを

**「ロータリーの心と原点」を大切に  
描こう明るい未来を**

サブタイトルに

**「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」**  
とさせていただきます。

ロータリーの心とは

- ① 親睦：寛容の心を基盤とした友愛・信頼の心
- ② 2つのモットーである
  - ・超我の奉仕
  - ・最もよく奉仕する者、最も多く報られる
- ③ 四つのテスト（職業奉仕の行動指針）

ロータリーの原点とは、先ほども申し上げたように、高い倫理基準・道徳心を持った人づくり。

「魅力あるロータリアン」を一人でも多く育て、魅力あるクラブづくりに繋げていきましょう。

時流に流されず、心豊かで平和な社会を心に描き、その実現に向け自分たちの信じる道を堂々と歩いていきたいと思ひます。

次に地区活動方針について発表させていただきます。

詳しい内容については7月号の月信をご覧ください。

ここでは、強調事項と検討事項のみ説明させていただきます。

強調事項は

①地区の女性会員比率8%達成を目指す

RI の目標： 2023 年6月末 女性会員比率 30% 達成となっています。110か国はすでに女性比率30%を達成しています。日本の平均は約8%で、世界の平均は25%となっています。残念ながら当地区は女性会員比率5・7%です。1クラブ1名の女性会員を増員していただきますと目標の8%になります。

②マイロータリー登録率 50%達成を目指す

当地区のマイロータリーの登録率は現状25%弱です。日本の平均が40%くらいです。マイロータリーには参考になるリソースが多く含まれていますので是非活用していただきロータリーの知識を深めていただきたいと思います。

実施事項として

1. ラッピングバス・プロジェクト

市内を走るバスに「END POLIO ・ ポリオ根絶まであと少し」の図柄を貼り付けて、ラッピングバスとして市内を走ってもらうプロジェクトを開始します。

9月7日に出発式を、岐阜、三重で執り行いました。

このバスを見て、ロータリーのポリオ根絶活動を多くの市民に知ってもらい、ポリオ募金活動の推進、ロータリーの公共イメージの向上につなげていきたいと思っています。

2. グループ単位でポリオ根絶の街頭募金活動の実施  
一人でも多くの市民にポリオ根絶の募金に協力していただけるよう頑張っていきたいと思っています。

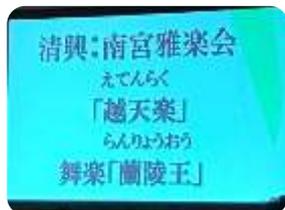
こうした活動内容を、新聞、SNSなどのメディアを使って発信していただきで、ロータリーの公共イメージの向上、さらにはクラブの活性化に繋がればよいと思っています。

最後に、地区大会のご案内をさせていただきます。日程は10月22、23日の土曜日・日曜日です。場所は、長良川国際会議場、都ホテル岐阜長良川。ご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、以上を持ちまして、公式訪問卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

アトラクション 17:40~18:00



## 委員会報告

### 出席委員会



### 出席報告

野中 学 副委員長

- ・本日の出席率  
出席規定会員数 32名中 21名 65.63%
- ・9月20日の補填出席率  
出席規定会員数 34名中 29名 85.29%

### ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

- ◆岩田 勝美君 天野 洋和君 荒木 義男君
  - 安藤 賢治君 兼松 秋生君 川崎 正一君
  - 木寺 祐樹君 久米 勉君 佐藤 裕昭君
  - 佐溝 勝樹君 辻井 晃君 野中 学君
  - 平松 暁仁君 堀 雅利君 松田 和彦君
  - 丸山 千恵さん 南谷 茂伸君 虫賀 大輔君
  - 柳原 望成君 山下 正弘君 梁 麗娜さん
- 本日はご出席の皆様よりご投函いただきました。

## 幹事報告 (第2596回)

- 次回例会は10月8日(土)『地区補助金事業』  
竹田 恒泰 講演会  
「私たちの未来予想図 ～SDGsを学ぶ～」  
例会 11:00 点鐘 不二羽島文化センター  
講演会 開場 13:00 / 開演 14:00
- 10月11日(火)は8日(土)へ例会変更。  
《臨時理事役員会報告》
- 岐阜サンリバーRC創立30周年記念式典について **承認**  
※詳細のご案内、出欠確認は後日ご連絡させていただきます。

## 10月の祝い

- \*\*\*\*\* 在籍表彰 \*\*\*\*\*  
20年在籍 林 秀樹君
- \*\*\*\*\* 会員誕生 \*\*\*\*\*  
梁 麗娜さん(4日) 松田 和彦君(10日)  
野中 学君(14日) 栗山 浩幸君(14日)  
兼松 秋生君(21日) 久米 勉君(28日)  
青木平七郎君(30日)
- \*\*\*\*\* 夫人誕生 \*\*\*\*\*  
加藤ひとみ様(6日) 柳原 純子様(9日)
- \*\*\*\*\* 結婚記念 \*\*\*\*\*  
加藤 大輔君(20日) 木寺 祐樹君(26日)

## 11月の行事予定

1日(火) 第2600回 『友愛例会』夜間例会

点鐘 18:30 (予定)

- \*お祝い行事
- \*増強活動

5日(土) 地区R財団研修セミナー

岐阜グランドホテル 12:00 点鐘

【会長エレクト・副幹事】

8日(火) 第2601回 『クラブフォーラム』

卓話 R財団資金推進小委員会

委員長 加瀬 久照様(津RC)

\*R財団寄付

◎例会後 第5回理事役員会

9日(水) 地区会員増強委員長会議

Zoomにて開催 18:00

【増強委員長】

12日(土) 地区職業奉仕研修セミナー

岐阜グランドホテル 13:00 点鐘

【会長・職業奉仕委員長】

15日(火) 第2602回 『プログラム卓話』

卓話 ジェトロ岐阜

所長 大澤 淳 様

22日(火) 休会

24日(木) 9RC幹事会 大垣フォーラムホテル

【幹事・副幹事】

25日(金) 第2603回

『岐阜サンリバーRC創立30周年記念式典』

大垣フォーラムホテル

式典 16:00~17:00

祝宴 17:30~20:00

26日(土) 地区D. E. I 会議

都ホテル岐阜長良川 13:00 点鐘

29日(火) 25日(金) へ例会変更